

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【公表番号】特表2011-526201(P2011-526201A)

【公表日】平成23年10月6日 (2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-040

【出願番号】特願2011-515142(P2011-515142)

【国際特許分類】

B 0 1 D 29/11 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 29/10 5 0 1 C

B 0 1 D 29/10 5 1 0 C

B 0 1 D 29/10 5 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月16日 (2011.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィルターハウジング下部の底部分 (1 9) の円筒状受入開口部 (1 8) においてフィルターエレメント (2 5 、 2 5 ') を固定するためのアダプター (1 、 1 ') であって、該アダプターは、非ろ液チャンバーの流体密の仕切りを可能とするための、アダプター周囲の周辺溝 (3 、 5) に配置される少なくとも 1 つのシール (4 、 7) を含み、非ろ液チャンバーはフィルターの外側ジャケットを囲み、ろ過される溶液をフィルターへと供給することができ、ろ液をフィルターからろ液チャンバーへ導入することができ、シール (4 、 7 、 2 8) は、射出成形によって周辺溝 (3 、 5 、 2 6) の基部表面 (6) に連結され、シール (4 、 7 、 2 8) が、溝 (3) の基部表面 (6) の境界を定める少なくとも 1 つの側壁 (1 2 、 1 3 、 3 2 、 3 3) から一定の距離 (1 6 、 1 7 、 3 1) があり、

第二のシール (7) が、第二の周辺溝 (5) における基部表面 (6) 上に射出成形され、2 つのシール (4 、 7) が、相互に並行する溝 (3 、 5) に配置され、シール (4 、 7) が、溝 (3 、 5) の 2 つの相互に向き合う内側の側壁 (1 0 、 1 1) に接しており、2 つのシール (4 、 7) が、軸方向に延びる少なくとも 1 つのウェブ (2 0) によって互いに連結されることを特徴とする、前記アダプター。

【請求項 2】

2 つのシール (4 、 7) が、軸方向に延びる 2 つのウェブ (2 0) によって互いに連結されることを特徴とする、請求項 1 に記載のアダプター。

【請求項 3】

第三のシール (2 8) が、フィルターエレメント (2 5 ') の端部キャップ (2 4 ') 領域中の周辺溝 (2 6) において、溝 (2 6) の基部表面 (6) 上に射出成形されることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のアダプター。

【請求項 4】

シール (4 、 7 、 2 8) が、熱可塑性エラストマー、熱可塑性ウレタン、またはシリコンで作られることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のアダプター。

【請求項 5】

アダプター（１、１'）が、封入された補強リング（３４）を備える本体（２）を有する、請求項１～４のいずれか一項に記載のアダプター。

【請求項６】

アダプター（１、１'）が、フィルターエレメント（２５、２５'）の端部キャップ（２４、２４'）に接合され、または端部キャップ（２４、２４'）上に一体化して形成される、請求項１～５のいずれか一項に記載のアダプター。